

《出前 交流塾》

『認知症』についていっしょに考えてみませんか？

認知症疾患医療センター「エスポアール出雲クリニック」の出前交流塾を3回シリーズで開催いたします。1回の参加でも差し支えありませんので、お気軽にご参加ください。
(裏面もご覧ください)

第1回

寸劇「認知症を病むとは」

日時：令和8年4月16日(木)午後6時～7時30分

場 所：神門コミュニティセンター 大集会室

発表者：エスポアール出雲クリニック 院長 高橋 幸男 先生

参加対象：神門地区の方 先着40名 申込締切：4月10日(金)

参加費：無料

《シリーズ プログラム》

	開催日	時間	内容	発表者
第2回	5月21日(木)	午後6:00～7:30	「認知症の人の心とかかわり」 —小山のおうちの実践から—	小山のおうち 職員
第3回	6月11日(木)	午後6:00～7:30	「認知症の予防等について」	高橋幸男

～ 参加申込方法 ～

下記の参加申込書にご記入のうえ、事務局（神門コミュニティセンター）にご提出をお願いします。
なお、電話でもお申込みを受け付けます。

～ お願い ～

当日、発熱、咳など症状のある方、体調が優れない方はご参加をお控えください。
当日、記録写真を撮影し、広報誌やホームページ等に掲載する場合がありますので、予めご了承ください。

【お問い合わせ・お申込み先】

神門地区社会福祉協議会 事務局（神門コミュニティセンター） Tel 21-1038 Fax 21-1056

主催：神門地区社会福祉協議会（この事業は、出雲市社会福祉協議会助成事業です）

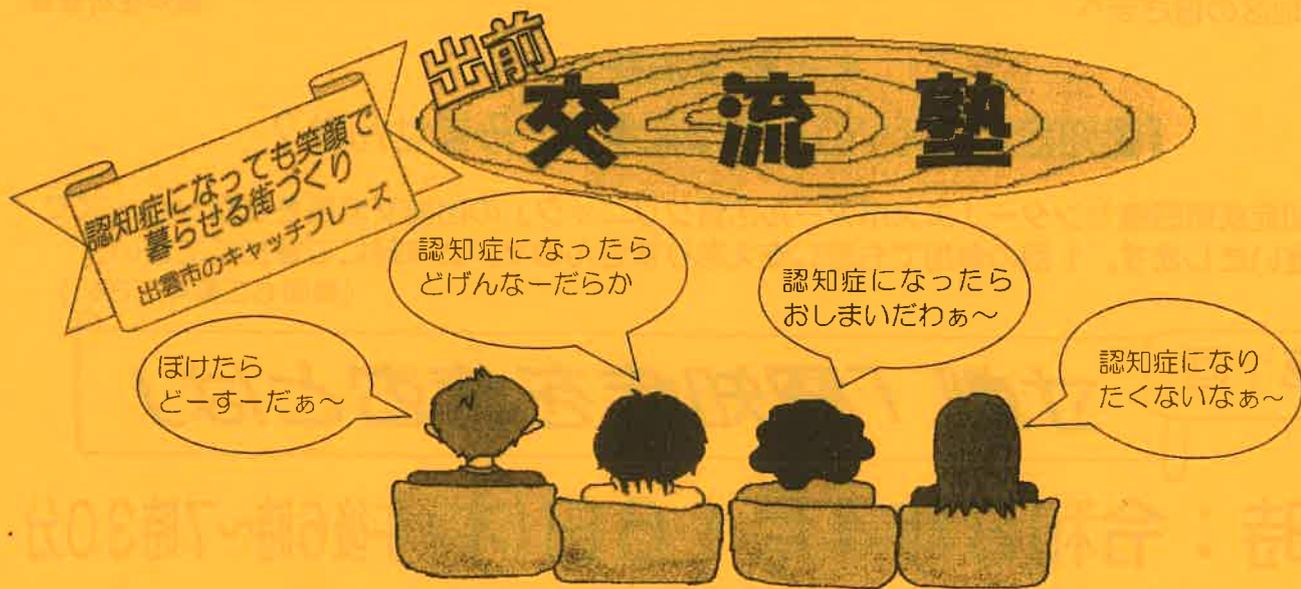
認知症疾患医療センター（連携型） エスポアール出雲クリニック Tel 21-9779

後援：出雲市役所 医療介護連携課 Tel 21-6106

-----切-り-取-り-線-----

出前交流塾 第1回「寸劇 認知症を病むとは」参加申込書

町内名	氏名	連絡先（電話番号）



『認知症』についていっしょに考えてみませんか？

長寿社会では高齢になれば誰でも認知症になる可能性があり、85歳を過ぎれば2人に1人は認知症になります。明日はわが身・わが家とも言えます。認知症予防の大切さとともに認知症を患ってどう生きるかは重要な課題になると思います。認知症になっても安心して笑顔で暮らせるためにはどうあればいいのでしょうか。

「認知症になっても笑顔で暮らせる街づくり」（出雲市のキャッチフレーズ）をめざして平成15年より交流塾を開き、平成16年秋からは地域に出かけて「出前交流塾」を始め251回が過ぎました。市民の皆様と一緒に認知症について考えていきたいと思えます。

2026年4月から3回シリーズで神門地区に出かけていきます。1回の参加でもかまいません。皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

エスポアール出雲クリニック
院長 高橋 幸男

認知症疾患医療センターとは

都道府県および指定都市により認知症専門医療の提供と介護サービス事業者との連携を担う中核機関として指定を受けた医療機関です。

認知症の速やかな鑑別診断や行動・心理症状（BPSD）と身体合併症に対する急性期医療、専門医療相談等を行います。

かかりつけ医や介護施設、地方自治体等とも連携し、認知症の方やその家族が地域の中で適切な専門医療を受けられるよう支援する役割を担っています。

（9月10日）交流塾

とろろ

きんぎょ